

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H29.09.29

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、近畿地方整備局、和歌山県並びに和歌山市が後援した、「第20回日本水環境学会シンポジウム」テクニカルツアーに参加された皆様が、見学に来られました。

当事務所から流水調整課長他1名の職員が対応し、紀の川大堰の概要説明、館内外の施設見学案内をいたしました。

普段から「水」に携わっている皆様から、多岐にわたる質問も多くいただき、和気あいあいとした雰囲気の中で、有意義な時間を過ごしていただきました。

団体見学概要

日 時： 平成29年9月28日（木）

15:00 ～ 16:15

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：28名

団体名： 日本水環境学会シンポジウム
テクニカルツアー

1. 紀の川大堰概要説明

流水調整課長がスライドを用いて、紀の川の概要や、紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

うなずきながら熱心に話を聞く、皆さんの姿がみられました。



2.館内の見学



2階操作室内をガラス越しに見学した後、3階の展望デッキへ移動しました。



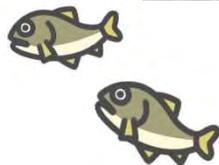
デッキへの扉を開けると、少し涼しい秋風が吹き、目の前にあらわれた大空と、紀の川大堰の姿に歓声が上がりました。景色を撮影されている皆様の様子。

3.館外の魚道見学

今回は、魚道及び魚道観察室の見学に多くの時間を設定しました。きらめき館から徒歩3分ほどで、魚道に到着です。



人工河川式魚道を上から見ている様子。



観察室では、階段式魚道での紀の川の流れを、横から見ていただけます。

季節外れのアユが数匹、キラキラと体を光らせながら遡上していくのが見え、大喜びで覗き込む皆様の姿。



質問

Q1. 紀の川大堰主ゲートの年間操作回数はどれくらいですか？

A1. 昨年度(平成28年)は2回、本年度は今のところゲート进行操作したのは1回です。

Q2. 流入量は、どうやって算出するのですか？

A2. 堰のすぐ上流の水位の変化や、放流量から算出しています。

